

# 前橋市立みずき中学校 部活動規定

令和6年4月

## 1 目的

- (1) 共通の興味・関心を持つ生徒が学級を離れて、上級生・下級生がともに活動する中で、望ましい人間関係を育てる。
- (2) 部員一人一人が活動の意識を自覚し、自主的・自発的な活動を通して、個性を伸ばし健全な心身を作る。

## 2 構成

- (1) 各部に、教師による顧問をおき、部長、副部長を定め運営にあたる。
- (2) 部長・副部長は、顧問と連絡を密にし、活動の中心となるように部員をまとめる。
- (3) 部員は、各部の目的が達成できるように、努力・協力をする。
- (4) 本年度設置する部活動について

運動部 11部、文化部 3部を設け、それぞれ顧問教師 1名以上、生徒に部長、キャプテン・副部長各 1名をおく。

### 【運動部】

バスケットボール部、ソフトテニス部、バレーボール部（女子）、野球部、柔道部、剣道部、陸上部  
サッカー部、卓球部（男子）、バドミントン部（女子）、水泳部、駅伝部

### 【文化部】

吹奏楽部、美術部、科学部

- (5) 活動日及び活動時間について

#### ① 週当たりの休養日の設定

- ・週 2 日以上の休養日を設定する。

(平日の月曜日 1 日と土・日曜日のいずれか 1 日は必須。詳細は各部活動ごとの活動計画による。)

※連休の場合も、週 2 日以上の休養日を設定する。

※大会参加等により、やむを得ず土・日曜日に活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

※職員会議、校内研修等のときは原則行わない。

#### ② 長期休業中の休養日の設定

- ・①と同様とする。

ただし、生徒が十分な休養をとることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、夏季休業中における完全休業日（閉庁期間）は休養期間とする。

※大会参加等により、やむを得ず土・日曜日に活動する必要がある場合は、代替休養日を確保する。

#### ③ 活動時間

合理的でかつ効果的・効率的な活動を行い、長くとも平日では朝練習を含めて 2 時間を超えない程度で練習を終える。学校の休業日（学期中の土・日曜日を含む）では、3 時間程度で活動を終える。

部活動時間	完全下校	延長時 完全下校
4月～10月	18:00	18:30
11月～3月	17:30	18:00

※平常授業日では 16 時 30 分活動開始とする。

※延長をする場合は必ず顧問がつくようにする。学年会等で顧問が不在の場合は、終了時間を守って安全に活動ができるように、事前に部長に指導・指示を行っておく。

#### ④朝練習

放課後の活動時間や場所を十分確保できない場合は、朝練習を行うことができる。ただし、実施する場合は、保護者の了解を得た希望者のみの参加とする。朝練習参加同意書を年度ごとに確認する。

※活動時間は、7：30～8：00とする。

※朝練習を行う場合は必ず顧問がつく。

#### ⑤1年生について

5月末日まで朝練習及び放課後の延長練習は認めない。また、練習内容についても配慮をする。ただし、大会に参加する生徒はこの限りではない。

#### ⑥テスト期間

中間テストは3日前、期末テストは5日前から活動を中止する。ただし特別な場合（市大会・県大会など）は、校長の了解の下、顧問の指導下において活動を認める。

### 3 経費

- (1) 活動に当たる経費を生徒会費、体育文化振興会費から補助する。
- (2) 各部において部費を徴収する場合もある。ただし、集める場合は、必要最低限とし、金額については保護者の理解を得た上で決定する。その際、帳簿を作成し、年度末に会計報告をする。

### 4 部活動への入部・退部

#### (1) 入部について

担任から入部届を受け取り、必要な手順を踏んで顧問に提出する。

○2，3年生が部活動へ加入を希望する際は、以下の手順による。

- 1) 担任から入部届を受け取る。
- 2) 必要事項に記入し、保護者の承諾印をもらう。
- 3) 部活動集会までに担任に入部届を提出し、承諾印をもらう。
- 4) 保護者印、担任印が押印された入部届を、担任が部活動顧問に提出する。

○1年生が部活動へ加入を希望する際は、以下の手順による。

- 1) 体験入部（仮入部）をする。
- 2) 担任から入部届を受け取る。
- 3) 必要事項に記入し、保護者の承諾印をもらう。
- 4) 部活動集会までに担任に入部届を提出し、承諾印をもらう。
- 5) 保護者印、担任印が押印された入部届を、担任が部活動顧問に提出する。

#### (2) 退部について

退部を希望する生徒は、担任、部活動顧問と相談した後、部活動担当から退部届を受け取り、担任と保護者の承諾印をもらい、顧問に提出する。

#### (3) 再入部

一度部活動をやめ違う部活に入部する場合は、仮入部期間を設け、活動に参加できると判断されたら入部を認める。

### 5 部活動運営

#### (1) 外部指導者（部活動指導員）について

専門的な指導を求める生徒や保護者のニーズに応えるとともに、教職員の指導力の向上、負担軽減のために、校長の了解の下、外部指導者や部活動指導員を活用する。

ただし、部活動は学校において計画する教育活動であることを踏まえ、顧問との役割分担を明確にし、生徒とプライバシーに関する情報交換などを行わないようにする。また、外部指導者との連絡方法は顧問のみとする。

## (2) 部活動委員会について

適切に部活動を実施するため、学校職員（管理職、主顧問、養護教諭）、保護者代表で組織する部活動検討委員会を設置し、必要に応じて会議を行う。

委員会において、活動内容や活動時間、学校と保護者の連携、学校と地域の連携などについて、顧問、生徒、保護者等の意見を聞きながら改善策等を提案してもらう機会を設ける。

## (3) 参加する大会等の精選

中学校体育連盟の主催大会、各種コンクール大会や発表会、市町村主催、関係団体主催など、多くの大会等が開催されており、生徒の技能の向上だけでなく、心身の健康についても配慮するために、参加する大会等を精選する。

## 6 部活動の新設・廃部・停止

### (1) 部活動の新設

活動に必要な部員が揃い、顧問を置くことができる場合、職員会議において校長の承認を得て、新たに部活動を設置できる。

### (2) 部活動の廃部

部員数や顧問の関係で活動ができなくなったり、部員数の合計が試合に出られる人数以下となったりしたら、廃部の対象とする。

※廃部の対象となったら、速やかにその後の方向性を職員会議で検討する。

※職員会議で検討後に廃部が決定した場合は、次年度の部員募集は行わない。

### (3) 部活動の停止

学校の決まりを守らないなどの行為があった場合は、部活動を停止する。

※停止期間は、職員会議で決定する。